



野外宿泊学習を終えて

6月11日から3日間、5年生が野外宿泊学習を実施しました。

この宿泊学習で達成したい目標は、『「さくらまち習慣」と「HAPPINESS」を学校外でもできる』家を離れ、友達や先生方と共に過ごす日吉自然の家での2泊3日は、子供たちにとってワクワクするような非日常の体験が目白押しですが、これからの自分たちの生活をよりよくするための貴重なことを学ぶ機会でもあります。学校生活の延長として位置づけしっかりした態度で臨むことは、この宿泊学習を子供たちにとって学びの多い充実したものにするために、極めて大切なことだと思います。

この目標の中にある「HAPPINESS」とは、4月に学校だよりでもご紹介させていただいた、以下の「幸せになるための4つの心がけ」のことです。

「やってみよう」 チャレンジする気持ち 自信をもって行動する みんなのために

「なんとかなる」 くよくよしない 気持ちを切りかえる あなたなら大丈夫

「ありがとう」 誰にでも親切に たくさんの人とつながる 人を喜ばせる

「あなたらしく」 人と自分を比べない 人のせいにしない 自分の長所を大切に

日頃から「HAPPINESS」を合言葉にして学校生活を送っている5年生。活動後の子供たちの感想をいくつかご紹介します。

初めは火起こし体験が少し嫌だったけど、他の班の人が頑張っているのを見て、私もやってみようと思ひ、やってみました。やってみると案外楽しくて、やってよかったと思いました。1日目は火がつかなくて悔しかったけど、2日目のカレー作りの時は火がついて嬉しかったです。



私は今まではいろいろなことに消極的だったけれど、5年生からいろいろなことに積極的に取り組めるようになりました。特に宿泊学習では、火起こし体験や野外調理などたくさんイベントがあったけれど、「やってみよう」ができたので良かったです。



僕は火起こし体験で一つチャレンジしたことがあります。一日目は一人ずつしていたんですが、それでは火が付きませんでした。だから、2日目は、二人で同時にやってみました。そしたら火が付いたのでもううれしかったです。僕たちはペーロンをした時に、二人ほど友達が休みでした。しかし、その二人の分をみんなでカバーするという気持ちで頑張りました。そうすると引き分けまでもっていけました。勝てなかったけど嬉しかったです。



ペーロンのことで、かいでこぐ時水の力で前に出せない時がありました。力をいっぱい入れて前に出して頑張りました。やってるうちに声を掛け合っていくと、はやく進んでいるように感じて、声の掛け合いが大切なんだと思いました。

3日目の掃除のとき、僕の目が痛くて、同じ掃除場所の友達に目が痛いことを話したら、「大丈夫？顔を洗いにいけば」と言ってくれた。その言葉がすごくうれしかったから僕も友達が困っている時に助けてあげたいと思った。小さなことからあったか言動を心がけようと思った。



「ありがとう」という言葉をたくさん使えたと思います。どうしてかということ、生活班の友達とかが、ふとんのたたみ方を教えてくれた時に「ありがとう」と言えたからです。私はこれからも日頃から「ありがとう」を言います。

この野外宿泊学習における貴重な体験は、それぞれの子供に大きな学びをもたらしました。かけがえのない素敵な思い出ともなったようです。

ぜひ、この体験で学んだことをこれからの生活に生かしてほしいと思います。

